

令和5年度 事業報告書

〔総括〕

地域におけるコロナ感染症の再流行と、介護職員の不足から一時的に新規利用者様の受入れを停止した影響もあり入園申込みが少ない状況が続き、結果として1年を通じ稼働が低調に終わりました。

引き続き、近隣病院等を中心に情報発信を行い待機者数の確保につなげる一方、外国人を含めた働き手の確保に努めたいと思います。

6年度に介護報酬単価の改正がありますが、それ以上に諸経費も上昇しており改定の効果は期待できるものではなく、多くの施設が厳しい経営を迫られています。

このような状況から、今後の施設運営を考えたときには行政とのさらなる連携は欠かせず、地域福祉を担い続けるための方策を検討してまいりたいと思います。難しい課題であるため一朝一夕に結果を導けるものではないと思いますが、一歩ずつでも前進をして安定した経営につながるよう取り組んでまいります。

以下、事業計画で掲げた各課・各委員会の目標につきまして、項目ごとに報告いたします。

管理課・業務課

一致協力し、利用稼働率の向上にむけた業務の検討・調整に取り組めます

夜勤体制を検討し職員配置の調整を行いましたが、待機者数やコロナ感染等により稼働の向上につなげることが出来ませんでした。

給食委員会

利用者様に楽しんで食べて頂けるよう工夫します

利用者様に合った食事形態で安全に食べて頂きます

できる範囲で工夫をし、問題なく食べてもらえました。

安全対策委員会

利用者様の身体負担が少ない介護を継続します

薄着の時期は表皮剥離の件数が多くなってしまいました。骨折を含む突発的な事故は起きましたが、関節拘縮の強い方等には必要に応じて2名介助する等、極力事故を起こさないような配慮はできていました。

行事委員会

楽しんでいただけるよう工夫しながら、可能な限り行事の機会を持ちます

感染症発生により一部行事が中止となってしまいましたが、ユニットごとに工夫した催しを実施し、利用者様には喜ばれました。

機能訓練検討委員会

① リハビリレク実施に向けた企画検討を行います

前半は人数不足から B・C 棟合同見守りが多く、後半は感染症等によりレク自体が実施できませんでした。

② 小規模訓練をできる限り毎日行います

外国人介護員も対応できるようになり実施機会が増え、概ね実施できました。